

女川町 支援活動レポート

2013.3.15 ~ 2013.3.17

(宮城県牡鹿郡女川町 針浜地区仮設住宅および石浜地区在宅にて)



頑張ろう日本！ 頑張ろう東北！



平成25年3月28日(月)
東北被災地応援団 白金支部

女川町 支援活動レポート

このたびの東日本大震災により、亡くなられた方のご冥福を、心からお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を、心からお祈り申し上げます。

1. はじめに

3月11日、震災から2年が経ちました。あらゆるメディアでイベントごとのように被災地のことが取り上げられ、復興が進んでいるような印象を与える報道が多かったように思います。一方では、宮城、福島各県の沿岸部で、県警や海上保安庁による行方不明者の一斉捜索が3月11日に行われました。行方不明者数は2年経った今も2668名(警視庁発表・平成25年3月11日)、未だご家族や、友人、知人の方が行方不明の方々にとっては、復興の前に震災というものが終わってない、という思いを抱いていらっしゃるのではないのでしょうか。

そして、心配される仮設住宅生活でのストレス、ストレスによる人間関係の摩擦、増える心の痛みは、日が経つにつれ増加の傾向にあるのは間違いありません。活動を通して接する方々に、私共が何ができるのか、試行錯誤の活動は続きます。

2. 現在の女川町について

私共が今回訪問させていただいた3月16日は、震災の影響で休止していたJR石巻線浦宿駅の営業再開の日でした。駅の周辺では、駅再開の様子、電車の発着を写真に撮る方々がいらっしゃいました。同線の終り着駅である女川まではあと一駅です。町の復興へ期待を寄せる方々の思いとは裏腹に、女川町の人口の流出が心配されます。震災前1万人いた人口が、住民登録としては8000人弱、町の入居状況の調査によると町内の居住者は5393人に止まるとのことです。5393人の内、高齢層は何人か？ この先、町を再建するにあたり、将来の女川町を担うであろう子供達は何人この町に残るのか？復興に向けて努力を続けていらっしゃる方々にとっては、とても厳しい現実があります。



夕日をバックにホーム入る電車(浦宿駅にて)



「うらしゆく」と読みます

3. 活動報告

1月の支援活動同様、針浜地区仮設住宅、石浜在宅地域への訪問、そして昨年引き続き、「人形町今半」さんのご協力によるすき焼きパーティーの昼食会です。久しぶりのネイルアートのレクリエーションの用意もあります。1月に訪問の際から、3月の私共の訪問を楽しみにしていただいているお話をうかがっていたこともあり、準備を進める私共も張り切ったの活動となりました。以下、活動について報告させていただきます。

(1) 活動内容

- A. 活動日程 2013年3月15日(金)夜より3月17日(日)夕方戻り
- B. 目的地 ①石浜地区在宅(10世帯 15人)
②針浜地区仮設住宅(40世帯 100人)
- C. 活動内容 ①「人形町今半」さんご協力、すき焼き鍋屋食会
②ハンドマッサージ、お茶会
③ネイルアート

(2) 活動レポート

2013年3月20日(日)

活動を一週間後に控えたミーティングを行うこの日、ミーティングに先立って、メンバー数名でイベントにお邪魔してまいりました。

◆東日本大震災支援チャリティー津軽三味線コンサート『よりそい』

ご出演： 廣原 武美、山中 信人、橋本 泰洋、木村 龍、セ三味ストリート(虎見康豊・ピエール小野)

昨年6月30日に開催しました、第2回 東日本大震災チャリティーコンサート“頑張っぺ東北！”におきまして、ご出演協力いただきました「セ三味ストリート」さんが、東北に思いを寄せる津軽三味線奏者の仲間と、チャリティーコンサートを開催されました。仕事の都合で東北被災地になかなか訪れることが出来ず、まずは東京で何か出来ることはないかとの事で企画されたそうです。躍動感あふれるリズムの津軽三味線の演奏、そして6人の奏者の方々によるフィナーレは、本当に圧巻で、いつまでも拍手が止みませんでした。

そして夕方からは活動参加メンバー14名、及びオブザーバー4名参加でミーティングが行われました。前回の活動でも評判のよかったハンドマッサージです。今回も練習時間を入れ、皆でマッサージの腕を上げて訪問したいとの思いで、講習会の時間もまた設けました。以下、ミーティングの内容になります。

①映像試写

今回は、3月26日にNHKで放映の女川さいがいFMを題材にしたNHKドラマ特集「ラジオ」のご案内も兼ねて、MXテレビで以前放映された、女川さいがいFMの取材の様子の映像の試写となりました。

②報告事項

③3月活動計画に関して

全体説明、役割の発表の後、各訪問のグループに分かれ、詳細の流れ、分担の話し合いが行われました。

④先の予定に関して、及び出欠状況の確認

5月のチャリティーコンサートのイベント、6月のバスツアーと企画が続きます。進捗状況の報告と、出欠の確認を行いました。

⑤マッサージ講習会



みんな真剣にマッサージの練習



出発前の集合写真

2013年3月15日(金)

後方支援者、当日の都合がついた者で、各所からの道具集めから始まり、夕方には「人形町今半」さんより、お肉、割り下が届きました。地区毎に積み込みができるよう準備が進められ、後方支援者手作りのお漬物も準備します。お茶受けにはお漬物が一般的、という女川町では、後方支援者の用意するこのお漬物が大変喜ばれます。

出発時間が近づき、揃ったメンバーで積み込みも完了、お見送りいただいた後方支援者にご挨拶をし、出発です。

2013年3月16日(土)

7:00

順調に東北道を北上し、予定通りに三陸道の春日パーキングエリアで仮眠をとり、朝を迎えて出発です。東京とは気温の違う東北に、メンバーも温かい身支度をして女川を目指します。

8:30

予定通りに女川町に到着、まずは女川町地域医療センター前に立てられた、「東日本大震災 慰霊碑」で黙祷を捧げ、熊野神社にお参りです。急な階段を上りきった高台にある熊野神社は、階段を上がるのに一苦労ですが、上から一望できる女川町の中心地跡は、復興の進み具合を見ることができます。ガレキが撤去された後、更地だった中心部には、嵩上げの為の人の背の高さ以上の盛り土があちこちにみられました。そして、盛り土で見通しがわなくなった交差点には信号機が設置されています。医療センターに向かう道には街灯が増えていました。震災の教訓からか、電力が途絶えても問題のない、風力発電のファンとソーラーがついた街灯です。少しずつ変わっていく町がそこにありました。



嵩上げ用の盛り土があちらこちらに



熊野神社前で参加メンバーと



ファンとソーラーが一体化になった街灯

9:15

今回も鮮魚の美味しい「おかせい」さんで朝食をいただいたあと、復興支援センターさんに立ち寄り、ご挨拶をすませてから、食材の引き取りにコンテナ村商店街を訪れました。いつもお世話になっている「相喜フルーツ」さん、「マルカネ商店」さんが笑顔でむかえてくださいました。食材を詰め込んだら、各地区に車を乗り換え、出発です！

石浜地区活動レポート

石浜地区在宅（10世帯 15人）

リーダー：安部 由美

メンバー：藤原 朗、近藤 尚之、古山 美有樹

石浜地区は女川漁港から山間に上る一帯にある地域です。震災前はおよそ100世帯が暮らしていたとのことですが、津波が勾配をかけあがり多くの家が被害を受けました。今は12世帯の方が生活をされています。今年の1月の活動から空き家になっていたお家を改装した集会所を利用させていただいています。

10:00

石浜地区に到着するといつもの温かい笑顔で菊地さんが迎えてくださいました。集会所にはまだ水道が通っていないのですが、ポリタンクには水を汲んでおいてくださり、ポットには温かい麦茶まで用意してくださっていました。集会所の外に出てみました。すると菊地さんのお宅の前で日なたぼっこする沢山の影。よく見ると大きなクマやプーさんでした(笑)。その隣でナナさんと菊地さんも日なたぼっこをされていました。お二人とも「お肉屋さん、まだ来ないね～」と楽しみにしている様子。メンバーは「販売車が来るのかな…」と思いつつよくよく伺うと、「去年の3月にも来た東京の美味しいお肉屋さんよ」とのこと。「それって私たちのことかも…?」と、思い「私たち『人形町今半』さんの美味しいお肉持ってきましたよ～」とご挨拶。待っていてくださったお肉屋さんは、私たち応援団ということが分かりました。しばらくして、集会所に戻り、今回は後方支援の川端特製の漬物をおつまみに、お茶をしながらお話をしました。そうこうしているうちに一人、また一人…と集会所に集まってきてくださいます。翌日がお彼岸の入り日ということもあり、ご多用の方もいらしたのですが、お宅に伺い声をかけ来ていただき、この日在宅されていた方がほとんど集まってくださいました。

11:00

そろそろおまちかねのすき焼きパーティースタート。1枚1枚包まれているおいそうなお肉に料理人藤原の手も震えます。皆さまの視線も一気に鍋に注がれました。まずはお肉。割下。そしてお野菜と手際よく鍋に入り、皆さまのお口にも運ばれていきます。もちろん口ぐちに「おいしい」「おいしい」という言葉が聞かれ、私たちも本当に嬉しく、「今半」さんのおかげと心から感謝します。普段はあまりお肉を召し上がらないという方も、「このお肉ならいくらでも食べられる」と箸がすすんでいました。

ほどなくしてお腹も心も満たされ歓談タイムです♪ 何度もうかがっている石浜地区ですが、いつも同じメンバーが来られるわけではないので、「『応援団』ですけど『団長』はいないです。『白金支部』ですけど、『本部』はありません。」という話しながら改めて、自己紹介をさせていただきました。すると石浜地区の方から「それでは、私たちも…」と自己紹介をしてくださりました。皆さまのお歳を伺い驚きました。

大正生まれの米寿の方がお二人もいらっやったり、皆さまともお元気です。ただ、この地区には子どもが二人しかいないとのことで、子どもの声が聞こえたり、遊んでいる姿が見れたりすると本当に嬉しいということをお話されており、しばしお孫さんのご自慢話に笑顔がこぼれていました。二児のパパであるメンバーもいて、「今度連れていらっやい」と言われたりもしていました。



集会場に人形町今半さんのバナーを張りました



すき焼き作りの講習会です！



気持ちいいですか？

12:30

なんと「人形町今半」の副社長さんと息子さんが来てくれました。「人形町今半」総料理長のご実家が石浜地区にあり、「お肉屋さん」を待っていたナナさんがそのご実家だったことが判明。深々とあいさつが交わされました。そして、副社長さん直々にすき焼きを焼いてくださいました。先ほどよりも更においしそうにできあがったすき焼きに、つついとお替りの手が伸びます。副社長さんは、まだ昼食を召し上がっていませんとお腹が空いている中、お替りのリクエストに快く応えてくださいました。応援団メンバーは次の機会があれば更においしいすき焼きをご提供できるようにと副社長さんの焼き方を真剣に見させていただきました。

13:00

あちらこちらでマッサージが始まりました。前回のことを覚えてくださっていて、「前もやってもらったわね～。またお願い。」と、皆マッサージを受けてくださいます。今回はお腹もいっぱいだったので座った姿勢でのマッサージです。用意したフットバスも試していただきました。

今回はお腹もいっぱいだったので座った姿勢でのマッサージです。用意したフットバスも試していただきました。ラベンダーのオイルを数滴たらすとあたりにリラックスできるような、よい香りもたよいます。マッサージはまだ練習中ですが、もっと喜んでいただけるように、また練習してまいります。

そして再びティータイム。メンバーも石浜地区の方々の温かい雰囲気ですっかりリラックスしていました。震災当日、津波からどのように逃げたか話をしてくださったり、震災後、変わってしまった風景を受け入れきれないお気持ちを話してくださったりもしました。私たちにできることが何か、東京で伝えなければいけないことは何かを改めて考えさせられる時間でもありました。

15:00

毎回楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、そろそろお別れの時間です。でもまたお会いできることが分かっているので、「また来ます！」と、親戚とのしばしのお別れのような気持ちで集会所を後にします。外は少し風が強くなり肌寒いのに、皆さま集会所の外で私たちが見えなくなるまで、ず～っと手を振ってくださいました。ありがとうございました。

針浜地区活動レポート

針浜地区仮設住宅（40世帯 100人）

リーダー：三上 加寿子 サブリーダー：後藤 奈津子

メンバー：平林 真百合、野口 砂絵子、小澤 徹、末石 義史、徳田 由美、
小幡 真理子、府川 めぐみ

集会場に到着すると、1月に訪問した際に3月にまたくるからね、とご挨拶させていただいていたお母さん方がお二人、すでに集会場にいらしてました。そして、何やらお母さん方がお二人、台所で…。私達の到着に合わせて、女川名物「秋刀魚すり身汁」を用意してくださっていたのです！「これ飲んで、温まってから準備したら？」お母さん方の優しい心遣いに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

さっそく、すり身汁をいただいて、メンバーもほっと一息。さあ、準備開始です。今回は集会場の中で昼食会、そとのテントはお茶会用として、準備を進めます。そうこうしているうちに、女川町観光協会会長の鈴木さんが、私共の訪問を知り訪ねてきてくださいました。そしてテントの設営もお手伝いいただきまして、本当にありがとうございました。

集会場には、子供達も含め少しづつ人が集まってきてくださいました。鍋ごとにトレーに野菜をわけたり、鍋の設置など、お母さん方が手際良く手伝ってくださったお陰で、時間通りに準備が完了しました。準備の合間でネイルアートを希望の方に、ネイリストのメンバー府川がマニキュアを塗っていきます。「こんなにキレイにしてもらうの初めてだわ。」ほころぶお母さん達の笑顔に、私達も嬉しくなります。長く続く仮設住宅での暮らし、この昼食会同様、ネイル一つにしても、心の彩りになっていただけたらと強く思います。

11:30

炊飯器のスイッチも入り、昼食会の始まりです。そして、この昼食会の宣伝をしてくださった、女川さいがいFMさんにお弁当もこちらで作ることになっていました。お母さん方にお弁当用のすき焼きを先に作っていただきたい旨を説明、さあ、温まった鍋にいぎ割り下をいれ、お肉を投入！というところで、昨年に引き続きお肉を提供してくださいました、「人形町今半」の副社長の高岡さんが息子さんを連れて、集会場を訪ねてくださいました。ご挨拶もそこそこ高岡さんは、「あ！火が強いです。すこし、弱めにして、それからお水も少し足してください。」的確に指示を下さりながら、自らお箸をにぎり、次々に調理をしてくださいました。さすがの手際に一同感心。見よう見まねで皆さん作り始めます。「お肉はこれくらいの火のとおりでいいんじゃない？」「火、少し弱めようか？」皆さん、楽しそうに調理をされています。高岡さんが中心につくっていただいたお弁当が完成、私共の車の先導で、一緒に女川さいがいFMへお弁当を届けに向かっていたきました。そして、高岡さんは番組にも出演されることになっていました。



指示を出してくださる人形町今半の高岡さん



ネイルはこの色でいいですか？



針浜地区から遠くに見える電車

12:30

女川さいがいFMに高岡さんが出演される時間です。集会場の中で聞けるように用意したラジオに、皆で耳を傾けます。アナウンサーの紹介と共に、高岡さんの声が流れます。緊張されている様子はなく、テンポのいいお話に皆で感心しながら聞き入りました。お肉には、人を笑顔にする成分が入っているそうです。食べると幸せな気分になるんだそうです。そんなお話を聞きながら、皆で「おいしいねえ」と、にこやかな雰囲気の中、鍋をつつく箸がすすみます。

外に集まりだしたお父さん達用に、鍋を一つ外のテントにも移動します。お父さん達は、秋田の蔵元さん「かつの銘酒」さん提供の日本酒「千歳盛」を飲みながら、鍋を囲んで歓談です。漁師のお父さん達とメンバーの男性とで釣りの話で大いに盛り上がったようです。

13:00

もうそろそろお肉もなくなり、外のテントでお酒を飲みながら盛り上がりを見せるお父さん達をよそに、集会場の中では、昼食会の片付けが始まります。ある程度片付いてからは、マッサージと、ネイルの時間です。「前回はマッサージしてもらってとても気持ちよかったから楽しみにしていたのよ」と、おっしゃるお母さんや、ネイルをやってもらった他の人の爪をみて、私もやりたい！と、ネイルに並ぶお母さん達。そして、後からやってきた子供達もネイルを楽しみにしていたようです。やはり女子は年齢関係なく、綺麗になることが嬉しいものですね。

そして、お喋りをしながら思い思いの時間をすごしていただきました。その中でも聞かれたのが、長引く仮設住宅での生活のストレスです。「昨日、お父さんとちょっと大きな声で言い争ったら、翌朝お隣さんに、昨日は派手にやってたねえ、なんて言われちゃって。」「壁が薄いからくしゃみしたって聞こえちゃうのよ」笑いながら話してくださいましたが、毎日の生活のこと、強いストレスになっていることが、心配されました。

15:00

そろそろ片付けの時間です。お酒も手伝い、外のテントでじっくりと話し込むお父さん達に申し訳なく思いながらも、片付けを進めます。私達が到着のときからいってくださいましたお母さん方は、最後の片付けまでお手伝いくださいました。片付けながら、仮設住宅の皆さんで、楽しみにされている企画や、やってみたいことなどをお伺いしてみました。企画はあっても、流れてしまったこともあったようで、お忙しい自治会長さんの負担を考えると、なかなか仮設住宅の皆さんでの催し物は難しい状況のようです。それでも、夏には夏祭り、盆踊りなどはされるそうで、今年もやるんだと思うのよ、と楽しみにされているご様子でした。私共の活動として、今後どういったお手伝いができるのか、またメンバーと相談しながら、皆様に楽しい時間をすごしていただけるようなことを企画していきたいと思いつつ、またの再訪を誓ってのお別れでした。

報告会及び懇親会(華夕美にて)

ゲスト： 針浜地区仮設住宅 桜井自治会長、阿部 淳 様 (マルキチ阿部商店)、青木 久幸 様 (青木廻船問屋)

今回の報告会では、報告の形式を変えて行いました。質問ごとに、それぞれが活動を通して考えたことを発表しました。

自分が目指したい活動とはどんなものか、それを実現するためにはどうしたらいいのか、何が阻害要因か、それぞれが考えたことを、今後に繋げより高い意識で活動に臨めるよう、頭を捻っての報告会でした。

2013年3月17日(日)

天候にもめぐまれたこの日は、いつもの立ち寄り場所、蒲鉾本舗高政、マリンパル女川での買い物を済ませたあと、石巻市渡波に向かいました。昨年、「おらほの復興市」が行われていた渡波のサン・ファン・パークの施設は、震災後、再建は進んでおらず現在も休館中ですが、公園には自由に立ち入ることができます。万石浦を一望できる展望スペースは暖かな日差しに包まれていました。本来であれば週末のこの日は、多くの家族連れで賑わう場所ではないでしょうか。施設も再建を願うばかりです。

サン・ファン・パークを後にし、同じく渡波の牡蛎小屋を訪れました。私共、東北被災地応援団 白金支部として6月に企画しております、バスツアーでの昼食をいただく場所としてこちらの牡蛎小屋の立ち寄りを検討中です。牡蛎小屋で炭火で焼いていただく牡蛎は、また格別に美味しく、機会があれば皆様に体験していただきたいと思っております。牡蛎小屋を後にし、5月、6月と続くイベントの話など、話題に欠かない帰路の車中となりました。



「サン・ファン・パーク」



牡蛎小屋。テントの中に炭火の台の席が用意されています。

4. 活動を終えて

浦宿駅再開を私共としても本当に嬉しく感じた今回の訪問ですが、この地に暮らす方々にとっては震災前には当たり前に通っていた電車が戻ってきただけのこと、と捉える方もいらっしゃるようです。

こんな記事を読みました。「身体の傷は、出血していれば分かりやすいが、心の傷は大きくても分かりにくいもの。深い悲しみを心に秘めて、元気な姿をみせる方もいらっしゃる。そして、何年も何十年も心の痛みをわずらう場合もあるだろう。」この地で震災を体験していない私達にとっては、こちらで暮らす方々の心の痛みは容易に想像できることではありません。それでも、こちらで暮らす方々に接すると、何かしないといられない気持ちになります。いろいろなお話を伺い、知ることで、少しでも心寄り添うことができたらとの思いは、強く持ち続けて行きたいと思っております。

5. 今後の予定

◆第三回東日本大震災チャリティーコンサート“がんばっぺ東北！” 今、我々に出来ること！

【日程】 5月25日(土)

【場所】 東京都港区高輪区民ホール

第3回となりますチャリティーコンサート、準備が進められております。今回も地元三光小学校による合唱、毎回ご参加いただいているフラダンスのプログラムに、マジック、ジャグリングのショー、多岐にわたった音楽のプログラムも用意させていただいております。

そして、女川町からのゲストや、支援活動に携わる方々の講演会もごぞいます。是非たくさんの方々にご来場いただきまして、被災地に共に心を寄せる一日を作り上げたい所存です。今、我々が出来ること、一緒に考えてみませんか？

皆様のご来場、お待ちしております。

◆復興支援バスツアー in 女川町

【日程】 6月15日(土)～6月16日(日)

宮城県の子川町は震災で甚大な被害を受けた町のひとつです。語り部の方のお話を聞きながら町内を巡り、また避難所にもなっていた女川原発を訪れ、震災の当時の資料を拝見し、ご自分の目で見て、知って、震災というものを風化させない、そして今、復興にむけて何が本当に必要とされているのか、一緒に考えてみませんか？ このツアーでは、女川町の美味しい旬味を楽しみ、また復興商品の買い物支援もできます。皆様のご参加、お待ちしております。

6. 補足事項

(1) 参加者 (敬称略/順不同)

小澤 徹	近藤 尚之	藤原 朗	末石 義史
後藤 奈津子	平林 真百合	安部 由美	古山 美有樹
野口 砂絵子	府川 めぐみ	小幡 真理子	徳田 由美
三上 加寿子	工藤 史大		

(2) 後方支援者 (敬称略/順不同)

尚礼会町会	小澤 雅志	若本 智子	飯星 広徳
橋本 翔二	藤川 芳恵	相原 朋子	飯星 美樹
川端 陽子			

(3) 食材等支援提供 (敬称略/順不同)

株式会社 人形町今半	株式会社 ビー・エヌ・アイ	かづの銘酒 株式会社
------------	---------------	------------

(4) 支援金寄付 (敬称略/順不同)

橋本 翔二	Nail Salon Cloche	トラストガーデン 南平台	古山 美有樹
後藤 奈津子	安部 由美	野口 砂絵子	府川 めぐみ
藤原 朗	平林 真百合	末石 義史	三上 加寿子
工藤 史大			

(5) 現地受け入れ先

宮城県女川町災害復興支援センター (旧: 災害ボランティアセンター) 様

皆様からの、あたたかいご支援・ご協力のうで、成り立っております。
本当にありがとうございました。
私達は、被災地への支援活動を、継続していきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。



平成25年3月28日
東北被災地応援団 白金支部
工藤 史大

★東北被災地応援団 白金支部 WEBサイト★

<http://www.onagawa.e-ouen.jp>

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。

Copyright (C) 2012 Tohokuhisaichi-Ouendan All Rights Reserved.